



TEAM

FUKUOKA NEWS  
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

9月27日 Vol.9

## 「強いぞ！ FUKUOKA」仲間と掴んだ勝利

### チーム・パーシュート ぶっちぎり優勝!!

「福岡には勝てない」「福岡の優勝は確実だ」という空気に包まれた福井競輪場。前日に大会新を記録した4人組が危なげなく、1・2位決定戦において京都府を下して『優勝』を手に入れた。

中学までは陸上競技に取り組んでいた今村選手(中央大学3年)と貝原選手(日本大学3年)、同じく中学まで野球をしていた橋本選手(中央大学3年)と児島選手(祐誠高校3年)。この種目転向カルテットが偉業を成し遂げ、福岡県に競技得点24点をもたらした。

4人の精鋭たちは、「この4人ならば勝つことは当たり前。どれくらいのタイムが出せるかが勝負だ」「仲間への強い信頼感があり、自信を持ってレースに臨む」「他の仲間の強さはよく分かっているので、自分がやるべきことをやれば勝てる」などといった思いで決勝の舞台に立ったそうである。実際には、「勝って当たり前」なレースを勝ち抜く難しさがあるはずだ。それを強靱な精神力で見事にやってのけた4人に大きな拍手を送りたい。

昨日の大会新記録は、緊張気味であった自転車競技選手団に、大きな勇気と闘う魂を注入した。この**4人の活躍が、自転車競技選手団だけでなく、これから闘いに向かう本県選手団全員に届くことを願ってやまない。**

また、26日のポイントレース(16km)では、少年で児島選手が、成年で貝原選手が、ともに予選組別トップのポイントで明日の決勝への進出を決めた。優勝候補2人の走りに注目したい。

### 3年連続競技別天皇杯が狙える

### 自転車競技の強さの秘密とは!?

「種目転向した選手が全国レベルに達する」「毎年のようにアジア選手権や世界ジュニア大会の上位入賞者を輩出する」などの実績がある福岡県自転車競技連盟には、育成・強化策に何か秘密があるのではないだろうか。このことは、競技関係者ならば、誰もが感じることはないだろうか。2日目を終えて、早くも競技得点36点を獲得した連盟の山下理事長や小川監督、野田監督に話を聞いた。3人の答えには共通項が見られた。

強さの秘密①: 連盟内の各スタッフの役割分担ができており、それぞれが高い指導ノウハウを有している。

強さの秘密②: 近年、関東を中心とした大学への進学者が増え、その大学生が強化練習会や国体において、高校生へレベルの高い練習方法や取り組み姿勢などを伝授している。

強さの秘密③: 県タレント発掘事業との連携がしっかりとされ、適性の高い選手の発掘もできている。

強さの秘密④: 指導者の方々が、選手一人ひとりを愛情込めて見守っており、決して上から目線の指導ではなく、選手の自主性を引き出す指導を徹底されている。

今日は、選手控え室にもお邪魔させていただいたが、指導者の方々と選手のみながつくりあげている『良い雰囲気』を肌で感じる事ができた。常勝チームをつくるヒントがたっぷり隠されていた。



【パーシュートメンバー】  
(中央左から貝原・今村・橋本・児島)



【女子チーム・スプリント5位入賞】  
(左から児玉・内野)